

『外国人の子ども白書』出版記念フォーラム

外国につながる子どもたちが 希望を持てる社会をめざして ～発達段階に応じた支援を考える～

2017.7.9日 13:00～17:00 ※開場 12:30

会場 神奈川韓国会館7階ホール(横浜駅西口より徒歩5分)
参加費 無料

※フォーラム終了後、参加者と講師の茶話会を予定しています。
※当日は、関連書籍の販売や資料の配布もあります。

外国人の定住化が進み、日本の学校で学ぶ
子どもの数は年々増加しています。

日本生まれ、あるいは家族の都合で来日した子ども
たちを取り巻く課題は、言葉や文化の違い、進路、差別
偏見や貧困問題など多様ですが、そんな子どもたちを
支える取り組みも進んでいます。

今回のフォーラムでは、乳幼児期から青年期まで
をつなぐ各地域の実践から学ぶことで、外
国につながる子どもの未来について
議論を行います。



申込み・問合せ
(公財)かながわ国際交流財団
多文化共生・協働推進グループ(担当:富本)

TEL: 045-620-4466
FAX: 045-620-0025

E-mail: tabunkajoin@kifjp.org

●申込方法● 「お名前」「住所」「電話番号」「ご所属」を
メール、電話、ファックスのいずれかの方法で
上記連絡先までお知らせください。

プログラム 司会進行 南野奈津子(東洋大学教授)

13:00～	挨拶	(株)明石書店 (公財)かながわ国際交流財団
13:15～	基調講演	「外国につながる子どもの現状～就学前から就労まで発達段階に応じた支援の必要性～」 小島祥美 (愛知淑徳大学准教授)
14:15～	実践報告	「当事者が語る日本での保育・子育て支援」 松井リリアン (YMCA いずみ保育園保育士)
		「日本社会での自立を支えるためには～学校・家庭・地域をつなぐ支援のあり方～」 大谷千晴 (平塚市立旭陵中学校教諭)
		「外国につながる若者の教育保障と就労支援～多様性が豊かさとなる未来へ～」 田中宝紀 (NPO 法人青少年自立援助センター 定住外国人子弟支援事業部統括コーディネーター)
15:40～	討論	「外国につながる子どもたちが希望を持てる社会をめざして」 司会・進行 山野良一 (名寄市立大学教授) 発言 小島祥美、松井リリアン、大谷千晴、田中宝紀